

平成 30 年度 青少年育成運動活性化研究協議会  
平成 30 年 11 月 9 日 (金) かでる 2・7 (札幌市)  
町内会活動を見直し、地域のつながりを強く



道内各地における青少年育成運動に取り組んでいる方々を対象として、運動の現状や課題、今後の進め方について共通理解を深め、それぞれの地域における青少年育成活動の活性化を図るため研究協議会を開催しています。当日は、北海道立総合研究機構の松村部長による基調講演と、3つの分科会に分かれての研究協議を行いました。

基調講演

演題「防犯活動が地域を変えるー子どもを守り、地域がつながり、高齢者が幸せになるー」

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

建築研究本部北方建築総合研究所地域研究部 部長

松村 博文 氏



今の時代は、どういう時代なのだろうか

人口の減少ー今こそ真の地域づくりをー

日本の人口は、2004年に1億2,700万人をピークに、2100年には4,700万人に減少する推計である。人口減少の要因は2つあり、①死亡する人が多く産まれる人が少ない、②町から人がたくさん転出する、がある。しかし、意外と気がつかないが皆さんの地域でも必ず入ってくる人はいて、都市部だと市内の移動が相当ある。地域活動の後継者不足に悩まされていると思うが、そこに移って来た人が大きなターゲットとなる。近年、防災の話題があがるが、日本には町内会があり、この組織は災害の時に圧倒的な力を発揮する。また、町内会という緻密な組織があるのは世界的に見ても日本だけ。最近、町内会活動が低迷しているが、この素晴らしい組織を、もう1度、再生していく必要がある。

超高齢社会ー高齢者が地域を救うー

道内市町村の2040年の高齢化率は、40%を超えると推計されており、高齢者が増え、子ども・若者が減る状況で、行政の施策もそうだが、地域活動も同じことをしてはいけなく、見直す必要がある。幸福度というのがあがるが、日本は年齢が進むにつれ、幸福度は右肩下がりになっている。こんなアンケート結果があり、「家族よりも地域や近所を大切にしている人」、「人を助ける、他人の喜ぶことを強く思う人」は幸福度が高い結果が出ており、社会貢献活動や地域活動をすることが幸福度につながると考える。高齢者が地域で活躍する、活躍できる、そういう社会になってきている。

つながりー「家族のみ」から「地域」のつながりへー

最近、家族のつながりが強く、地域のつながりが弱くなっており、高齢者や子育て世代の孤立化も耳にするが、災害時など本当に困った時に相談できる環境をつくっていかねばなら

ない。家族が大事なのは良いことだが、家族だと限界がある。地域とのつながりを強く持ち、相互扶助・共助をもう1度充実させる必要がある。

町内会活動を考える

何故、地域活動は沈滞化したのか

町内会の加入率は、札幌市で70%、旭川市で60%と年々減少しており、老人クラブの加入率も1975年は70%以上だったが、現在は18%である。老人クラブは、役割が明確に見えなく、楽しむだけのクラブであれば、他に楽しめる場所はたくさんある。社会に役立つ活動をする、など明確な役割があれば、加入率も上がる。町内会も、活動が地域の役に立っているのか、役に立っていることが住んでいる人にきちんと伝わっているのかを考えなければならない。地域で困っていることを町内会が解決したら、町内会は有り難いとなる。

地域の課題と活動の成果の「見える化」

地域では、子どもの連れ去り被害に遭うなど不安を持っており防犯が課題となっている。防犯活動で大事なのは「リスクの見える化」であり、リスクが明確になると活動は変わる。安全安心マップなどの作成は、リスクが見え、活動も見回り活動等を行い、不審者の減少などの成果があると、地域課題の「見える化」、成果の「見える化」となり、地域が変わり、活動が活発になる。

防犯活動が地域を変える

防犯活動をしている人と活動していない人では、達成感、充実感、生きがいがあるかという点で、明らかに優位な差がある。防犯活動というのは、子どもや地域の安全・安心をもたらすことに加え、参加する高齢者の健康や幸福度のためにもよく、地域のつながりも強くなる。子どもは、地域の鎧(かすがい)なのです。

分科会

分科会では、各テーマを設けた3つの分科会に分かれ、ワールドカフェでの討論や、話題提供の発表、グループ交流があり、活発な意見交換や協議が行われました。

グループ交流では、地域での活動の成果や課題等が話され、他の地域で活動している方々にとっては、共感できる部分や活動に反映できる情報があり、今後の育成運動を進める上で実りある場となりました。

●第1分科会 「これからの地域活動を見つめ直す」～今、必要とされる取組と支援～

ファシリテーター：木幡 淳史 氏 (北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課主査)

●第2分科会 「子ども達を地域で育むために」～犯罪のない安全で安心な地域づくり～

話題提供者：前東 昭 氏 (自主防犯団体 いさいき行動隊 代表)  
コーディネーター：青山 智恵 氏 (北海道教育庁石狩教育局社会教育主事)

●第3分科会 「子ども達をネットトラブルから守るために」～ネット環境の現状と未然防止～

話題提供者：奥田 美幸 氏 (独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター)  
コーディネーター：尾形 行亮 氏 (北海道教育庁空知教育局社会教育主事)

